

A LITTLE SCHOOL WITH BIG DREAMS

“小さな学校 大きな人間づくり”

このうら

佐世保市立神浦小学校
学校便り

ビッグスマイル
神浦・ザ・13

No.62

平成27年2月3日(火)

文責：校長 園田俊郎

学校教育目標：心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

春に備えて。。。今すべきこと、やるべきことを!

今日は節分、そして明日は立春。暦の上では「春」になります。まだまだ寒い日が一ヶ月ほどは続きますが、校庭では寒さに負けずキンセンカや水仙が花を咲かせています。

冬は、「殖ゆ」からきた言葉という説もあります。「増える、増やす、たくわえる」といった意味があり、新しい命が増え、木の芽や花のつぼみが膨らんでいきます。その季節を「冬」と呼んだのです。冬は、凍りついた世界でなく、命の芽生える出発点だと考えてきたのです。

やがて、木の芽やつぼみはどんどん増え、膨らんで、張り裂けんばかりになっていきます。この命がみなぎり張り切れんばかりに張った季節が「春」。「春」は「木の芽張る」の「張る」からきているとも言われています。校庭の桜も、暖かい春を待ちわびるように、まだ硬い硬いつぼみを枝にたくさんつけています。桜の木は花が散ったときから、つぼみをふくらませる準備をしています。地面から吸った栄養をつぼみの中に蓄えて、春が来るのを待っています。春の準備をしっかりとしているのです。そして、暖かくなると一斉に咲き始めるのです。

子ども達も次の学年で美しい花を咲かせることができるよう、この2・3月も、学習や運動に、今、すべきこと、やるべきことにしっかりと取り組ませていきます。



未来へのスタート! そして新しいステージへ ～学校統合について～

児童数の減少等に伴う両小学校の統廃合につきましては、これまで神浦地区、平地区それぞれに佐世保市教育委員会と保護者（未就学児保護者含む）や地域の皆様との協議が続けられてきました。

その結果、1年2ヵ月後、平成28年3月31日を持って神浦小学校は閉校し、同年4月1日より宇久小学校と統合することになりました。（先日、地区回覧文書の中にあった佐世保市教育委員会発行の「神浦小学校と宇久小学校の統合について」という文書をご覧になった方も多いと思います。）

本校、神浦小学校は明治7年の創立。平成27年度で141年を迎える伝統ある学校です。創立以来、地域の中で、教育はもちろんのこと、文化、地域の交流拠点としても重要な役割を果たしてきた学校であつたろうと考えます。従いまして保護者の皆様をはじめ地域の皆様の心情を思い、愛惜の念も深い中で、子どもたちの今後の教育環境を思い、断腸の思いで統廃合を受け入れられたものと思います。

この神浦小学校に残された時間は多くはありません。しかし、それは決して『終わりまでの時間』、『ゴールまでの時間』ではなく『新しい未来へのスタート』『新しいステージの始まり』だと考えます。私達、神浦小学校職員がやることに変わりはありません。皆様の思いを胸に受け止めながら、本校の教育目標である『心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成』を目指します。子ども達の本物の笑顔、真の自立を目指し、統合する宇久小学校の子ども達、先生方、そして宇久小学校の保護者の皆様方とも、深く細やかに連携を図りながら、誠心誠意、教育活動を更に充実させ進めてまいります。

保護者、そして地域の皆様方には、未来を担う子どもたちが、ビッグスマイルを目指し、明るく活力に満ち、心身ともに健やかに育ちますよう、今後もなお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。